

# いかるが

令和7年（2025年）8月1日

発行 斑鳩町議会  
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号  
電話 0745-74-1091（直通）  
FAX 0745-74-1011  
E-メール: gikai@town.ikaruga.nara.jp  
発行人 議会議長 中川 靖広  
編集 広報発行常任委員会



▲ツバメは、春に日本にやってきて、夏を過ごし、秋に南方へ渡っていく夏鳥です

5月 臨時会  
6月 定例会



こんなことが決まりました……………	②ページ
7人の議員が一般質問を行いました……………	③ページ
委員会のうごき……………	⑧ページ
本会議での討論……………	⑪ページ
議会の新しい構成をお知らせします……………	⑫ページ

# こんなことが決まりました

## 第2回 臨時会

令和7年5月9日

## 第3回 定例会

令和7年6月2日～6月18日

令和7年第2回臨時会では、議員の役員改選のほか、下記の事項について審議しました。

また、令和7年第3回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

建設：建設常任委員会 8ページ  
 厚生：厚生常任委員会 9ページ  
 総務：総務常任委員会 10ページ



町ホームページでも議案・審議結果について、アップしています。

5月臨時会の案件		結果
条例	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について	満場一致で可決
	斑鳩町の一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	
予算	令和7年度斑鳩町一般会計補正予算（第1号）について	満場一致で承認
承認	町長専決処分について承認を求めることについて（令和6年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）について）	
	町長専決処分について承認を求めることについて（斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について）	
	町長専決処分について承認を求めることについて（斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について）	
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について（令和6年度斑鳩町一般会計補正予算（第11号）について）	報告
	議会の委任による町長専決処分の報告について（平成緊急内水対策事業に伴う調整池整備工事請負契約の変更について）	
発議	斑鳩町議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	満場一致で可決

### 用語解説？

専決処分とは…

議事が議決すべき事件について、議会に集まる暇がない等、法律で定められた事由に該当する場合や、議会の議決によって委任された場合に、町長が議事に代わって当該事件を処分すること。

6月定例会の案件		付託先	結果
条例	斑鳩町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	総務	満場一致で可決
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		
契約	三室井堰改修工事請負契約の締結について	建設	
予算	令和7年度斑鳩町一般会計補正予算（第3号）について	総務	
	令和7年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	厚生	
	令和7年度斑鳩町一般会計補正予算（第4号）について	総務	
承認	町長専決処分について承認を求めることについて（令和7年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について）		満場一致で承認
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について（令和7年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）について）		報告
	令和6年度斑鳩町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
	令和6年度斑鳩町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について		
報告	令和6年度斑鳩町文化振興財団事業報告について		
発議	訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを求める意見書について		賛成少数で否決

11ページに賛否の討論

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、6月5日・6日の両日、7人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

# 一般質問 Q &A

## 奥村容子・3ページ

◎親も子どもも、安心して  
学校園所生活を送るため  
に

◎難聴への理解

## 小城世督・4ページ

◎赤ちゃんの駅（授乳・お  
むつ替えスペース）の整  
備と周知について  
◎地域防災・防犯における  
若年層の役割強化につい  
て

## 齋藤文夫・5ページ

◎まるとまちごとハザード  
マップ設置の推進につ  
いて  
◎斑鳩町を中心とした広域  
観光の推進について  
◎災害から文化財を守る対  
策の推進について  
◎高齢者優待券交付事業の  
有効活用について

## 木澤正男・5ページ

◎少人数学級編制の充実に  
ついて  
◎補聴器購入費助成制度の  
拡充について  
◎国民健康保険被保険者へ  
の資格確認書の発行につ  
いて  
◎自転車用ヘルメット購入  
費助成制度の創設につい  
て

## 溝部真紀子・6ページ

◎学校における熱中症防止  
対策について

◎カスタマーハラスメント  
について

## 濱真理子・6ページ

◎生理用品の無償配布につ  
いて  
◎介護報酬引き下げによる  
介護事業所の廃業等につ  
いて

## 宮崎和彦・7ページ

◎公共施設の老朽化につい  
て  
◎外国語表記について



## ヒアリングフレイルの難聴 への理解と予防対策について

**議員** 難聴は、高齢者の健  
康上の問題のうち上位にあ  
る症状とされています。

難聴は次第に進行し、日  
常生活では大きな支障を感  
じづらいうちから、本人が  
気づかないうちに聞こえに  
くい状態になってしまっ  
ていることが多くあります。

そして、難聴とフレイル  
の関係ですが、聞こえづら  
い状態が続くと何度も聞き  
返したり、相手の言ってい  
ることが正しく聞き取れな  
かったりするため、だんだ  
んと人とコミュニケーション  
ンが取りづらくなり、人と  
関わることを避け、自ら社  
会活動の抑制をしてしまっ  
ておそれがあります。

### 「フレイル」とは…

年齢とともに、心身の機能  
と回復力が低下し、健康な状  
態と要介護状態の中間の段階  
のこと。



奥村 容子

近年の研究では、難聴は  
高齢期におけるフレイルの  
発症と関連することが報告  
されており、フレイルが進  
行し重症化するプロセスに  
おいて、聴力や平衡感覚の  
機能障害に難聴が関わって  
いる可能性があるとも言わ  
れています。

以上のことから、フレイ  
ル予防には、難聴を予防し  
たり進行を抑えたりする施  
策が有効であるということ

が分かりました。

斑鳩町として、住民への周知や予防・啓発の取組みの推進をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

**住民生活部長** 高齢者の聴力低下への対策には、本人だけでなく周囲の人の正しい知識と理解が必要であることから、ヒアリングフレイル等についての健康教育やチラシの配布により、広く周知・啓発を務めてまいります。

### 補聴器購入

#### 助成制度の検討を

**議員** ヒアリングフレイル予防のために、補聴器購入費助成制度についてより早期の段階から補聴器が装着できるよう検討してはいかがでしょうか。

**住民生活部長** 当町実施の高齢者補聴器購入費助成制度について、フレイル予防に効果的なものになるよう、補助対象の聴力レベルに関する考え方を研究し検討してまいります。

## 赤ちゃんの駅（授乳・おむつ替えスペース）の整備と周知について



小城 世督

**議員** 子育て世代にとって、外出時に赤ちゃんのケアができる場所の有無は行動に大きく影響するため、地域の子育て環境の整備は重要な施策です。現在の町内の整備状況と施設数について伺います。

**住民生活部次長** 町内の公共施設では、おむつ替えが可能な施設は16か所、授乳が可能な施設は7か所です。民間施設の状況については把握しておりません。

**議員** 利用できる施設の一覧化や公表を望みます。次に、観光施設や商業施設との連携促進の可能性について伺います。

**住民生活部次長** 今後、民間の商業施設などに対して

も、スペース提供を呼びかけていくなどの取組みを検討していきます。

**議員** モデル施設との連携など、実践的な一歩を早期に進めていただきたいです。次に、案内板やマップ等での周知について伺います。

**住民生活部次長** 子育て施設等は周知していますが、今後は、授乳・おむつ替えスペースについても子育て応援ブック等への掲載を検討していきます。

**議員** 町内マップへの記載、グーグルマップへの情報登録、案内表示の整備などに取り組んでいただきたい。次に、補助制度や登録制度の創設について伺います。  
**住民生活部次長** 先進自治

体では登録制度や補助制度が導入されています。今後、国・県の制度や効果等を調査・研究していきます。

**議員** 小さな一歩から始める視点で、町独自でステッカーの配布等もご検討いただきたい。

次に、今後の町の外出支援の方針を伺います。

**住民生活部次長** マタニティタクシーや幼児2人乗り自転車の助成制度等を実施しており、今後も行政・住民・企業と協働してすすめることができるよう検討します。

**議員** 子育て家庭が安心して外出できるまちづくりが、町民の共感を得る子育て支援へとつながります。引き続き、丁寧かつ継続的な取り組みをお願いします。



▲赤ちゃんの駅  
(写真は、斑鳩町の施設ではありません)

## 議会だよりと会議録（本会議、委員会）が斑鳩町ホームページで閲覧できます。

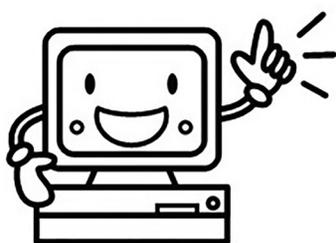
斑鳩町ホームページ（斑鳩町議会）で、No.52（平成19年5月1日発行）以降の議会だよりと、平成13年以降の会議録が閲覧できます。



（議会だより）



（会議録）



## 斑鳩町を中心とした 広域観光の推進について



齋藤 文夫

ST NARA 広域観光推進協議会での取組みがある。この協議会は、奈良県北西部の生駒郡、大和郡山市、北葛城郡の1市8町が連携し、各地域の観光資源を活用して、広域での観光振興事業を推進することを目的に発足した。旅行商品の創出、販売、一体的な観光プロモーションの実施、各地域の特産品を活用したご当地グルメの開発・販売などに取り組んでいる。

**議員** 旅行などで訪れる自治体にふるさと納税制度を利用して寄附すると、返礼品として宿泊施設や飲食店、お土産店などで使える電子ギフトがもらえる旅先納税という制度がある。斑鳩町の取組みは、いかがか。

**総務部長** 旅先納税のような現地決済型ふるさと納税は、地域の活性化やまちの魅力発信につながるものと考えている。本町では、昨年12月に1事業所で導入を開始し、現在5店舗が利用開始に向け準備中である。

**議員** 多くの観光資源がある斑鳩町が中心となり、聖徳太子の関連遺産のある近隣自治体と一緒にロゴマークや標識の統一など、一体的に取り組む必要があると思うが、いかがか。

**都市建設部長** 今年度からは奈良県、JR西日本及び奈良商工会議所を主体とした「ならSLOW&LOOP」プロジェクトが始動します。このプロジェクトは、大和路線、和歌山線、万葉まほろば線で構成される環状構造に着目し、奈良公園周辺に集中する観光客を分散させ、県中南部エリアへの周遊・滞在を促す官民地域連携の誘客プロモーションです。当町も参画しており、旅行商品の創出や地域イベントを行っていく予定です。



## 補聴器購入費 助成制度の拡充を



木澤 正男

**議員** 現在、町が実施している高齢者の補聴器購入費助成制度は、聴力レベルが50デシベル以上の方を対象としています。しかし、日本聴覚医学会難聴対策委員会は、できるだけ早期に補聴器を着用することが望ましいとして、聴力レベル40デシベル以上の方を補聴器装着の基準として推奨しています。より多くの方に制度を利用いただくため、町の助成制度の対象を広げ、制度を拡充すべきだと考えますが町の見解はいかがでしょうか。

福祉の増進に資することを目的とした事業でもあり、補聴器は高齢者の社会参加及び健康維持を図る上でも重要なものであると考えています。

補助対象の聴力レベルを拡充することについては、様々な考え方を研究しながら、今後も引き続き検討を行い、高齢者福祉の向上に資する制度の充実を図っていきたくと考えています。



**民生生活部長** 高齢者補聴器購入費助成制度については、高齢者の社会参加及び地域交流を支援し、高齢者

## 自転車用ヘルメット購入費助成制度の創設について

**議員** 法改正によって自転車に乗る際にはヘルメットを着用することが努力義務になって以降、町は周知・啓発によってヘルメットの着用率向上を図ってきましたが、あまり効果が上がっているようには思えません。町民の命と安全を守るため自転車用ヘルメット購入費助成制度を創設し、積極的に着用率の向上を目指すべきではないでしょうか。

**町長** 町民の方の安全性の認識が一番大事だと思います。これからも引き続き、いろいろな形で啓発活動を行っていききたい。  
また、ヘルメット着用が義務化されたときに町として動いていればよかったが、すでに購入されている方もおり、公平性を考えると今の段階で制度を創設するのはむいていないのではないかと感じています。

## カスタマーハラスメント

### について



溝部 真紀子

**議員** 近年、公共機関におけるカスタマーハラスメントへの対応が全国的な課題となっております。職員が暴言や執拗な要求などにさらされることは、心身の健康だけでなく、行政サービス全体の質にも悪影響を及ぼす可能性があります。

斑鳩町では昨年、カスタマーハラスメントに関する対応指針を策定されましたが、その効果について伺います。

**総務部長** 本指針の施行と同じくして開始した役場庁舎の電話の通話録音の開始の効果も合わせ、本指針策定により、一定の効果があつたものと考えています。  
**議員** カスタマーハラスメ

ント対策として、職員の名札の表記を変更する考えについて伺います。

**総務部長** 町職員の名札の表記については、住民のみならず、対応している職員を確認しやすくすること、安心につながることを目的に現在のデザインとありますが、カスタマーハラスメント対策として、名札の表記についてデザインを変更する団体が増加しています。今後、職員の声を聞きながら、適切なデザイン、運用について、検討を進めてまいります。



## 学校における

### 熱中症対策について

**議員** 今夏も猛暑が予想され、学校での体育、水泳授業に影響が出ると考えます。気温に左右されないようプール授業を民間に委託する考えについて伺います。

**教育次長** 町内には民間のスイミングスクールがなく、移動時間や、どこまで受け入れが可能か等の課題が考えられます。

学校のプール施設は、老朽化がすすんでいる状況であり、現在「斑鳩町こどもが輝く学校の未来構想検討委員会」において、町立小・中学校の適正規模及び適正配置等について議論を重ねていただいています。その答申も踏まえて、今後の方向性を検討していきたいと考えています。



## 生理用品の無償配布の支援継続を



濱 真理子

**議員** 生理は命を生み出すために決しておろそかにしてはならないものです。社会福祉協議会（社協）が生理用品の無償配布をスタートされた時、私はうれしく思いました。

しかし、最近何人かの女性から気軽に無償配布を利用できない気持ちを感じました。ことから、質問をしましたが、まず、現状はいかがですか。

配布のお知らせと受け取り希望カードが設置されているのはどこですか。

また、案内とカードの追加はどうしていますか。町のこの制度への思いはいかがですか。

**住民生活部長** 生理用品の配布は、令和3年5月14日から、社協において実施されています。配布件数は、

社協と町窓口の合算で、令和3年度66件、4年度42件、5年度23件、6年度26件です。

配布案内は生き生きプラザ斑鳩、役場、各公民館、いかるがホールの女性及び多目的トイレに、希望カードは生き生きプラザ斑鳩と役場に設置しています。管理は社協が行っていますが、町も、掲示物やカードの不足等を随時確認し、補充等の対応をしています。

生理用品の配布は、「生理の貧困」対策として重要であると考えており、引き続き、社協で実施していたべくようにお伝えするとともに、町としても必要な支

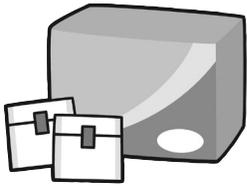
援を実施します。

**議員** 手渡すときの気遣いについて実施していることは何ですか。

**住民生活部長** 原則として

女性職員が対応しています。配布時には、住所・氏名などの聞き取りはありません。声を出すことなくカード等の表示で受け取れます。

**議員** いろいろな気遣いをされており、評価できます。しかし一方で、「受け取り窓口で住所氏名を言わなくても、どの誰かは男性職員にもわかる。」また、「他の住民と会うこともある。」「配布を受けるのは後ろめたい。」などの意見もあります。無償配布を安心して利用できる環境づくりを要望します。



## 公共施設の老朽化について



宮崎 和彦

**議員** 公共施設における日常点検について問う。

**総務部長** 公共施設の維持管理として、施設管理者による巡回時の目視による点検を実施しています。これにより、施設の現状確認や不具合の早期発見につながっています。

緊急事態や天災等により突発的な修繕が必要となった場合は、専門業者等に調査・修繕を依頼し、速やかな対応に努めています。

次に、消防法や建築基準法など、法的に点検や報告が義務付けられている施設においては、毎年度、計画的に点検等を行っており、その際に発見した不具合については、その都度修繕対

応しています。

**議員** 多くの施設で、築年数が増加しており、老朽化対策が必要となつてくると思うが、町の考えを問う。

**総務部長** 平成28年に「斑鳩町公共施設等総合管理計画」を策定し、令和2年度に、「斑鳩町公共施設等総合管理計画（個別施設設計画）」を策定しました。その中で、各施設の劣化状況や利用状況を調査し、長寿命化が必要な施設の保全方針の検討や対策費用の試算を行いました。

公共施設の耐用年数は、非木造の場合50～80年となっており、長寿命化対策としては、大規模改修を行うことで耐用年数を延長す

る方法があります。

また、建替えを実施する場合、新たに建築する土地や仮施設等を建設するための条件に適した土地の確保が必要になり、大規模改修と比べて財政負担も大きくなります。

それぞれの施設の立地条件や利用状況を踏まえ、大規模改修と建替えを総合的に比較検討し、公共施設の長寿命化対策を図ってまいりたいと考えています。

**議員** 先日クリーンキャンペーンに参加したとき、東小学校のプール横の擁壁から水がにじんでいたりと、東公民館の屋根の棟の鉄板のサビが、気になりました。点検して早期に修繕することで、長寿命化につながると思います。



▲斑鳩町東公民館

# 建設常任委員会

6月9日、全委員出席のもと建設常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。  
 本会議から付託を受けました1議案は、満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

## 委員会付託議案

### ◎三室井堰改修工事請負契約の締結について

竜田川に設置されている神南1丁目地内の三室井堰の改修工事について、指名競争入札の結果、1億4,905万円で工事請負の契約をすることについて議会の議決を求めるものです。  
 工事の概要は、井堰のゴム袋体の据え替え、また、これにともなう操作設備、電気配線、排水ポンプ、埋設管などの整備です。

## 各課報告事項

### ○令和7年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について

本町への観光客誘致を目的として実施する地域観光魅力向上事業に係る国の補助金について、当委員会所管にかかる事項の報告を受けました。

### ○斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについて

①斑鳩町文化財活用センターの令和6年度の入館者

数について

②文化財活用センター春季企画展「斑鳩の古墳をさぐるー奈良大学との共同調査の成果ー」の関連行事である奈良大学・豊島直博教授による歴史講演会について

③斑鳩町文化財活用センターの第1回運営委員会の予定について

④史跡藤ノ木古墳の春季石室特別公開について報告を受けました。

石室特別公開では、雨により25日の日曜日のみ開催となったが、217名の方が参加されたとの報告がありました。

### ○令和6年度斑鳩の里観光案内所(法隆寺・センター)及び斑鳩町観光自動車駐車場指定管理者事業報告について

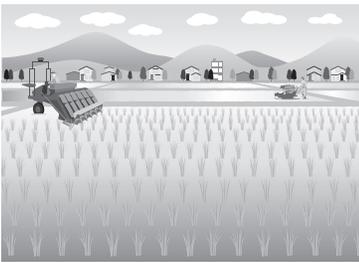
公共施設の指定管理にかかわる令和6年度の施設管理運営費について、また、施設の利用状況として、斑鳩の里観光案内所入場者数と、多目的ホール利用回数について報告がありました。

斑鳩町観光協会は、令和7年3月31日をもって解散され、7月中には債務の弁済を完了し、残余財産を斑鳩町に寄附した後、清算事務を終了する予定とのことです。

## その他

- ・コミュニティバスの混雑状況について
- ・高齢者の移動手段について
- ・平成緊急内水対策事業に伴う調整池整備工事の工期延長の経緯などについて
- ・法隆寺駅南側地区整備の特別委員会設置について
- ・町道のセンターラインについて

(齋藤委員長記)



## 議会を傍聴してみませんか？

斑鳩町議会では「開かれた議会」をめざしています。

みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのどのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。

また、事前に通告された一般質問の要旨は、斑鳩町ホームページに掲載しています。斑鳩町HPで斑鳩町議会をクリックしてご覧ください。



6月10日、全委員出席のもと厚生常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

本会議から付託を受けました1議案は、満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

# 厚 生常任委員会

## 委員会付託議案

◎令和7年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

介護保険制度改正等に伴う介護保険システム改修のための費用として、歳入歳出それぞれ99万円の増額補正を行うものです。

## 継続審査

○環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

令和6年度の廃棄物・資源物の排出量について、家庭系排出物は、前年度に比べ、3.7%減の約4,711t、また、事業系排出物は、6.2%減の約1,496tとのこと。

資源化率は、前年度と比べ、13.9%増の68.9%で、住民一人1日あたりのごみ排出量は、前年度と比べ、40g減の665gとなりました。

資源化率の大幅な上昇は、可燃ごみ委託先でメタンガス発酵施設を整備し、エネルギー化したことによるものと報告がありました。



▲プレス式パッカー車によるごみ収集のようす

## 各課報告事項

○令和7年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について

障害福祉システムの改修費用、介護保険制度改正等に伴う介護保険システムの改修費用、ヒトパピロームウイルス感染症のキャッチアップ接種費用の増額補正について、当委員会所管にかかる事項の報告を受けました。

○老人総合福祉施設あくなみ苑について

開設後、30年近くが経過し、今後、施設の老朽化に伴う修繕が必要となっていくことから、現在の指定管理者である宝山寺福祉事業団へ譲渡する方向で協議が進められていましたが、協議の結果、令和8年4月1日に譲渡することについて、譲渡に関する協定書、無償譲渡契約書を締結し、県への報告を行った旨の報告がありました。

## その他

・町内の介護施設の一時休業、再開について  
・高齢者優待券のイコカカードの取扱いについて

(濱委員長記)



## 議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しください。

議会事務局 (☎74-1091・直通)



## 務常任委員会

6月11日、全委員出席のもと総務常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

本会議から付託を受けました4議案は、すべて満場一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

### 委員会付託議案

◎斑鳩町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

地方公務員の育児休業制度の改正に伴い、部分休業制度が柔軟化される内容で、新たに、「1日2時間の範囲内での部分休業」と、「年間10日相当の範囲内の休業」という2つの選択肢を設けることについて、本条例において所要の改正を行うものです。

◎令和7年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について

障害福祉システム改修に伴う増額補正、地域観光魅力向上のための増額補正、ヒトパピローマウイルス予防のための増額補正、災害対応ドローンに係る補助金不採択に伴う減額補正など、予算総額に388万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ11億5,864万円とするものです。



◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎令和7年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)について

国の基準が改正されたことに伴い、条例において所要の改正を行うものです。

選挙長、投票管理者、選挙立会人等の報酬額がそれぞれ引き上げられる内容で、この改正に伴い、関連する選挙にかかる予算を増額補正するものです。

### 継続審査

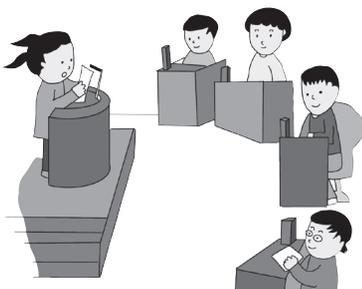
◎斑鳩町の学校教育について

現在、斑鳩町立小中学校の適正規模・配置等に関する検討が進められており、斑鳩町子どもが輝く学校の未来構想検討委員会での議論状況が報告されました。

これまで、5回の会議が開催され、アンケート調査

結果などに基づき、答申素案について議論が進められており、今後、委員の意見を反映した答申案のとりまとめが予定されています。

また、町内の小学6年生及び中学2年生の児童生徒が、テーマに沿って意見や希望を述べ、理事者が答える一般質問の形式で執り行う「子ども議会」が、7月28日に開催されることが報告されました。



### 各課報告事項

◎令和6年度町税不納欠損処分及び町税収納状況について

実人数で26人、合計約1

51万円であり、町税の収納率は98.8%と報告がありました。

◎令和6年度斑鳩町文化振興センター指定管理者事業報告について

施設管理運営費の収支報告、施設利用状況について報告がありました。



▲いかるがホール  
(斑鳩町文化振興センター)

◎令和8年4月採用の職員採用試験の実施について

◎昨年の図書館システムにおけるコンピュータウイルス感染発生事案に関する個別通知について

(小城委員長記)

# 本会議での 討論

議案に対して賛否が分かれた場合等、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。

6月定例会で1件の討論が行われました。

## 訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを求める 意見書について (賛成少数で否決)

### 【反対意見】横田議員

介護報酬の引上げは、介護保険財政に大きな影響を与えることになります。介護保険の財源は、保険料負担が半分で残りが公費負担ですが、介護保険制度の持続可能性を確保するためには、国の負担割合の引上げ等を検討するとともに、介護サービス全体のバランスを考慮しつつ、限られた財源を効率的に配分する必要があります。

訪問介護事業への対応としては、小規模事業所への支援体制の構築、地域特性を考慮した報酬体系の見直しなど、さまざまな面からの検討が必要です。

また、5月に実施された介護事業経営概況調査結果から基本報酬引下げの影響を判断し、今後の見直しにつなげることが適当であると考えます。

介護事業者や介護労働者への対応については、総合的な視点で検討されるべきであり、介護報酬の引上げのみを求める本意見書の提出には反対します。

### 【賛成意見】濱議員

2024年度の介護報酬改定により訪問介護の基本報酬が引き下げられました。厚生労働省の引き下げの理由は現場の実態を見ず訪問介護があたかも利益率が高いと決めつけ、地域での小規模事業所の経営環境は過去最悪の状況なのを考慮せず強行に進めたものです。

経営が苦しい介護業界の中でも特に訪問介護の経営が苦しいと言うのが現場の実感です。厚労省が2024年6月に公表した訪問介護事業所数は、全国では、0か所が97町村、1か所が277市町村、奈良県では、0か所が2村、1か所が6町村です。

この町村には訪問介護を希望される方がいないのではありません。事業所がなくなれば在宅では暮らせないのです。家族が介護離職を余儀なくされるなど弊害も懸念されます。

国による介護報酬の引き上げを早急に行うよう強く要望します。

### 議会の日程

#### 閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

8月19日(火) 建設常任委員会

20日(水) 厚生常任委員会

21日(木) 総務常任委員会

26日(火) 議会運営委員会

#### 令和7年9月議会

9月1日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

4日(木) 一般質問 本会議初日に町ホームページに

5日(金) 一般質問 一般質問の要旨を掲載します。

9日(火) 決算審査特別委員会

10日(水) 決算審査特別委員会

11日(木) 決算審査特別委員会

16日(火) 建設常任委員会

17日(水) 厚生常任委員会

18日(木) 総務常任委員会

22日(月) 議会運営委員会

26日(金) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。

すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎(74)1091(直通)

# 議会の新しい構成をお知らせします

5月9日に議会役員等の選任を行いました。新しい議会の構成は下記のとおりです。

(議席順)

## 総務常任委員会

委員長 小城 世督  
副委員長 横田 敏文  
委員 伴 吉晴  
// 嶋田 善行  
// 宮崎 和彦  
// 木澤 正男

町の総合計画や行政改革、防災計画、コミュニティ、財政計画、財産管理、町民税、固定資産税、小・中学校、幼稚園、生涯学習、文化振興に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 議会運営委員会

委員長 木澤 正男  
副委員長 溝部真紀子  
委員 齋藤 文夫  
// 伴 吉晴  
// 嶋田 善行  
// 井上 卓也  
// 奥村 容子

定例議会の会期、議事日程や議事進行に関する事、請願・陳情の処理に関する事、意見書の提出等議会の対外的問題に関する事等、その他議会運営上必要と認める事項や、他の委員会に属さない事項の審査、調査をします。

議長 中川 靖広  
副議長 井上 卓也  
監査委員 嶋田 善行



本会議・委員会の開催日程は11ページをご覧ください。

## 厚生常任委員会

委員長 濱 真理子  
副委員長 奥村 容子  
委員 溝部真紀子  
// 齋藤 文夫  
// 横田 敏文  
// 宮崎 和彦

保健事業、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、ごみ問題、環境対策、住民登録・戸籍に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 建設常任委員会

委員長 齋藤 文夫  
副委員長 溝部真紀子  
委員 小城 世督  
// 嶋田 善行  
// 井上 卓也  
// 木澤 正男

道路、河川、橋梁、町営住宅、農業、建築開発に伴う規制、公園・緑地、駅前整備、都市計画道路、地域公共交通、観光、商工業、文化財、下水道に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 広報発行常任委員会

委員長 濱 真理子  
副委員長 奥村 容子  
委員 齋藤 文夫  
// 伴 吉晴  
// 嶋田 善行  
// 井上 卓也

議会広報の編集、発行に関する事務をします。

## 編集後記

毎日の最高气温に驚かされ、夏の電気代には気持ちいが凍るかと思う毎日です。秋の到来を待ち望んでしまいます。季節は行き来するので天気予報では「水分」「傘」などの予報も定着してきました。みなさんご自愛ください。

(濱委員長記)



▲議長と令和7年度の広報発行常任委員会委員



この広報は、有害な排水を出さない「水なし印刷」を採用しています。SDGsの掲げる17の項目に対して、8つの項目で具体的な貢献をします。



UDフォントを使用しています

